

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成28年10月24日 (19:00~21:00)
------------------	-----	---------------------------

1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	高平・大西・藤田・濱崎・太野・中西・今西・村上・松崎・岩崎
-------------------	------	-------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	4人	人	人	10人

前回の改善計画	家族への言葉掛けで、「何でも相談してくださいね」等の様な、次に繋げる言葉を付け加え声掛けを心掛ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	家族との話をしている時や本人との話の後には「何かあればいつでも言ってください」と声をかけるようにし、職員も統一して取り組んでいる。介護支援専門員の毎月の訪問時にも同じように声掛けをしてもらい、相談があった場合はプライバシーにも配慮した上で情報の共有をしてもらい、ご家族への声掛けに役立っている。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	6	4			10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	5	5			10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	6	4			10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5	5			10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
新規利用者の情報等はミーティング時や書類にて共有している。利用の際は家族の要望や本人の希望を聞き、利用を振り替えたり、訪問に切り替えたりと無理強いすることの無いよう支援をしている。定期の訪問以外にも、送迎の途中や他利用者の訪問の途中に自宅に立ち寄り、声かけや話しをしている。送迎の時にはご家族に施設での様子や出来事を話すようにし、ご家族の不安や困りごとを聞くようにしている。「何かあればいつでも言ってくださいね」と声をかけるようにしている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
次回までの具体的な改善計画 (200字以内)	
引き続き、本人家族との会話の後には「何かあれば何でも言ってくださいね」の一言を添えるようにし、本人、家族の不安な気持ちや悩み、必要としていることなどを少しでも聞けるような関係づくりをしていけるように配慮する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成28年10月24日 (19:00~21:00)
2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	高平・大西・藤田・濱崎・太野・中西・今西・村上・松崎・岩崎

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6人	4人	人	10人

前回の改善計画

一対一での関わりを持ち本人とよく話し「何がしたいのか」を聞くようにする。また、その聞いた当面の目標を目に見えるように掲示し職員で共有する。

前回の改善計画に対する取組み結果

1対1での関わりとして、なかなか時間をかけることが出来ないが話しを聞き、アセスメントをし本人の目標として取り上げて様式化した。しかし、常に見ることがなく目標が風化してしまった。担当者によっては熱心に取組みミーティングで共有・統一を図るよう伝えているが出来ていない担当者もいた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	4	6			10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	8			10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	7	2		10
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	5	2		10

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

各担当者が担当利用者のアセスメントをし何がしたいかの目標を設定、それを職員で共有し取り組んでいる。ミーティングでも情報発信し、取り組みの共有を図りスタッフに統一を呼びかけている。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

作業・レクができない方への支援ができていない
実践した内容をミーティングで話しているが、振り返り、次の対応に活かしていない。
アセスメントを活用してのPDCAサイクルが出来ていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

アセスメントを3か月に1回モニタリングをしてミーティングで共有していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年10月24日 (19:00~21:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 高平・大西・藤田・濱崎・太野・中西・今西・村上・松崎・岩崎

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	8人	人	人	10人

前回の改善計画
利用開始前に、所長やCMが本人やご家族に今までの暮らし方について出来るだけ詳しく聞き取り職員へ情報を伝えていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
利用開始前には、情報提供書で情報共有できており、今までの暮らしや趣味などが記入されている。また訪問のある方は訪問用紙に、訪問の細かな内容が記入されているので情報が伝わりやすくなった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	10				10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	10				10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		8	2		10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	10				10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	7			10

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
	<p>契約時、本人に以前の暮らし方を聞くが、利用しながら本人や家族との会話や関わりの中で見えてくることもありその中でも把握している。</p> <p>また本人の状態、状況、体調に合わせて入浴を追加したり、シャワー浴にしたり、排泄用品を選択したりと介護出来ている。</p> <p>本人の体調不良時や気持ちの変化のある場合は口頭で伝えたりミーティングノートで共有している。</p> <p>変化のあった場合は家族への連絡、受診に付き添い、主治医とも連携するようにしている。</p> <p>認知症による気持ちの不穏に関しては、散歩に行き気分転換を行ったりしている。</p>

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
	<p>ミーティングなどで”本人の声にならない声を言語化”しているが、それが本当に本人の思いなのかはわからない。</p> <p>しかし出来るだけ本人にとって安楽のように考えて取り組んでいる。</p>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日

平成28年10月24日 (19:00~21:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー

高平・大西・藤田・濱崎・太野・中西・今西・村上・松崎・岩崎

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	4人	6人	人	人	10人

前回の改善計画

送迎時に家の様子を確認して少しでも生活の様子が分かるようにしていく。CMより民生委員の方の情報が伝わっていないこともあり提供してもらう。

前回の改善計画に対する取組み結果

介護支援専門員より利用者の民生委員の情報・福祉用具サービスの利用情報・かかりつけ医の情報を一覧表で提供があり、職員で情報の共有が出来るようになった。送迎時に玄関までではなく本人の了解をもらいながら自宅の様子を見ていき、連絡ノートや生活記録にて情報の共有も出来ている。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係を理解していますか？	4	6			10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	4	6			10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		10			10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	2	8			10

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

契約時に家族に聞いたり、地域ケア会議を開催し、地域の方に聞いてこれまでの生活スタイルや人間関係の理解をしている。
また、本人に聞ける方は本人に聞きミーティング等で情報を共有している。
年2回は家族参加の行事を実施し、参加を呼び掛けている。
地域の方のかかわりが切れないように行きつけのスーパーへの買い物支援や老人会への参加を促している。
自宅で居られる時の様子は本人に聞き家族にも聞き、また本人が話されていたことを家族にも伝えながら情報共有している。

できていない点

200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成28年10月24日 (19:00~21:00)
------------------	-----	---------------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	高平・大西・藤田・濱崎・太野・中西・今西・村上・松崎・岩崎
----------------	------	-------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

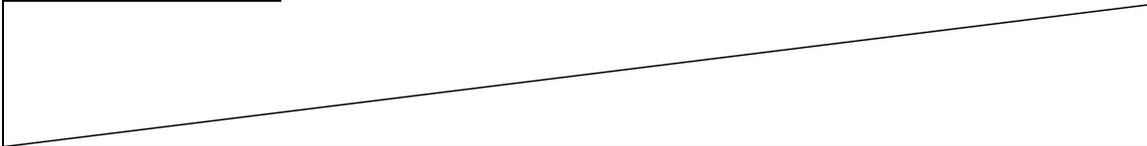
個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	3人	7人	人	10人

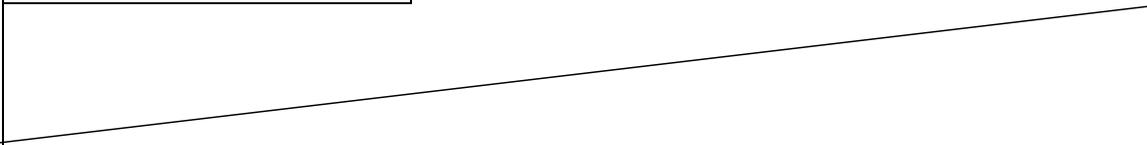
前回の改善計画
利用者一人ひとりの地域資源の必要性や今後どのように必要になってくるかについて担当者ごとに把握してアセスメントする。
前回の改善計画に対する取組み結果
担当者が担当利用者のアセスメントを行い、資源の見直し、必要な資源の利用を見直した。しかし、それをみんなが常に見ることがなく忘れてしまっていた。利用者も職員もわかりやすいように見えるように掲示する。担当者が責任をもって貼りだす。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	5	5			10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	7	3			10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	6	4			10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	4	6			10

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
<p>必要な地域の資源を利用しながらサービスを行い、生活の支援をしている。 利用者行きつけのスーパーで一緒に買い物、習い事に行けるための声掛けや老人会への参加も促している。 また、宅食も外部で引き続きお願いしたり、色々な地域資源を利用し支援する視点を常に意識している。 通い・訪問・宿泊も柔軟に対応している。家族の希望も出来るだけ可能になるよう調整している。 通い中止の時は訪問に切り替え、自宅での様子なども家族と連携できるようにノートに記入して情報共有している。 体調の変化ある場合は血圧・体温測定し受診も付き添う。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成28年10月24日 (19:00~21:00)
------------------	-----	---------------------------

6. 連携・協働	メンバー	高平・大西・藤田・濱崎・太野・中西・今西・村上・松崎・岩崎
----------	------	-------------------------------

◆ 前回

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	6人	4人	人	10人

前回の改善計画
ボランティアの方の訪問や子供たちも参加しやすいような行事の取り組みを企画していく。
前回の改善計画に対する取り組み結果
今年度地域の方の参加型の行事が行えていない。しかし、ボランティアを呼んでの行事を3回行うことが出来た。(5月、8月、12月予定)

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？	10				10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	10				10
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？	10				10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		10			10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>その他のサービス機関、自治体、地域包括センター、との会議には所長・ケアマネージャーが参加する。会議の前には職員からの意見や担当者からの意見も聞いて会議で伝えることもある。また会議の内容を連絡ノートや、ミーティングで情報伝達し共有している。地域の祭りや防災訓練に参加している。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>ボランティアや、野菜を持ってきてくださる方はたまに訪れるが、子供が訪れることはない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>子供が参加しやすいような行事企画も行う。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年10月24日 (19:00~21:00)

7. 運営

メンバー 高平・大西・藤田・濱崎・太野・中西・今西・村上・松崎・岩崎

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	2人	人	10人

前回の改善計画
地域の方への認知度を上げていく為に地域の病院や郵便局や銀行、スーパーにチラシや広報を置かせてもらう。
前回の改善計画に対する取組み結果
地域の病院や銀行・郵便局・スーパーなどにチラシや広報を置かせてもらうことは出来なかったが、「体験利用無料」のサービスを付けて、城東地区に新聞広告を配布した。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	7	1		10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	6	1		10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	10				10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	3	4	3		10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<p>事業所の運営のあり方に関してはみんながミーティングで意見が言えている。</p> <p>利用者・家族の意見としては普段は上がってこないが、今回家族アンケートを実施し、改善が必要なことは話し合い取り組んでいる。</p> <p>またケアマネージャーが訪問時に本人・家族から聞いた意見は共有し運営に反映している。</p> <p>地域から苦情はないが、他事業所での苦情を共有し自事業所でも話し合い運営に反映している。</p> <p>介護相談員との交流会や民生委員の見学ツアー、住民学習会などがあり、事業、サービスの紹介をすることもでき地域と協働した取組みが行えた。</p>

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
	<p>まだ入職半年で事業所の意見としては言えない部分がある。</p> <p>家族からの意見に対してみんなで取り組んでいるが忘れることがよくある。</p> <p>所長が地域への協働した取組みを行っているが自分は何も出来ていない。</p> <p>事業所の一員として自分が地域にできる事がもっとあると思うが出来ていない。</p>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<p>地域への声掛けや、ボランティアの呼びかけをする。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成28年10月24日 (19:00~21:00)
------------------	-----	---------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	高平・大西・藤田・濱崎・太野・中西・今西・村上・松崎・岩崎
-----------------	------	-------------------------------

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	2人	4人	4人	10人

前回の改善計画	リスクマネジメントの研修を行う。研修時間や休日の不参加については伝達研修やレポートなどで理解できるように取り組んでいく。
前回の改善計画に対する取組み結果	リスクマネジメント・ヒヤリハットについて研修を行う。(1月予定)

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	4	6			10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	3	4		10
③	地域連絡会に参加していますか	2	8			10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	3	4		10

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
<p>毎月、ミーティングの際事業所内で研修を行っている。 情報公開サービス必須の研修はもちろん、介護サービスについて、PDCAサイクルについてなど職員が苦手としているところや百寿の郷として取り組んでいかなければいけないこと、また担当制にしているので自分が苦手な事などを研修として行っている。 また、法人として職員の能力に合わせた研修会やキャリアパス制度の取り組み、アセッサー研修なども力を入れて取り組んでいる。 地域連絡会には所長とケアマネージャーが参加しその都度情報を共有している。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
<p>自分から探してや進んで研修や資格所得の為の研修には行っていない。リスクマネジメントも言われたら意識はするがすぐに風化してしまう。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>業務の終わる前に職員で1日を振り返り「ヒヤリハット」がなかったか話し合う時間を持ち、連絡帳に記載し共有する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成28年10月24日 (19:00~21:00)
9. 人権・プライバシー	メンバー	高平・大西・藤田・濱崎・太野・中西・今西・村上・松崎・岩崎

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8 人	2人	人	人	10人

前回の改善計画	プライバシーを守る意識改革を行うために、職員同士で話し合い意識を高める。業務終了時職員同士で確認しあうなど。
前回の改善計画に対する取組み結果	業務終了後にあえて確認しあうことをしなくても、常日頃から、「声が大きいよ。ほかの方に聞こえるよ」「利用者の前で話すことじゃないよ」と、お互い注意が来て意識出来ていた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10				10
②	虐待は行われていない	10				10
③	プライバシーが守られている	4	6			10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	10				10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	10				10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>身体拘束・高齢者虐待は行っていない。 身体拘束禁止・高齢者虐待防止研修を行い認識を高めるとともに、日頃のケアを振り返り施設内での不適切な行 為がないか見直している。 成年後見制度を活用されている利用者もおられ、勉強会も行った。 個人情報、プライバシーも研修を行い知識を得て事業所内で遵守するよう取り組んでいる。</p>	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>月曜日は宿泊者がいない為、夕方よりミーティングを行っている。 以前は利用者がまだ居られる時に利用者の話をすることがあった。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>帰宅されてから利用者の内容を話すようにする。</p>	

外部評価 地域かかわりシート②(結果まとめ様式)

A. 事業所自己評価の確認

No.	項 目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	9		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されて実施していることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	9		
3	前回の改善計画に対して、具体的な取組みが行われていましたか？	8		1
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	8		1

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※ 結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過(姿勢)に対する意見

- ・一人一人が良く考えて評価出来ている。
- ・前回もだが今回も評価を厳しくしているところもある。
- ・今回参加して、利用者の事や家族の事を考えて仕事されていると感じた。
- ・自己評価の項目内容として、文章の作成や質問が実質にあった内容にして欲しい。

【前回の改善計画に対して意見】

※ 前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

- A: 利用者の知り得た情報を個々に付箋等で貼り見える化を図るようになれば情報を把握でき職員で共有することが出来る。
- C: ボランティアの方は参加されているので良い。事業所に行く事を嫌がる方もいるので来てもらう事だけでなく出向いて参加した方が良い。事業所が地域の方に認知してもらえるきっかけになる。
- D: 運営推進会議としては内容も充実しているが、他事業所の会議内容を発表する機会が無かった。
- F: 地域との交流(防災訓練や行事参加)は色々な形で行っていた。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※ 今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

【改善計画】 ※ 後日記入

担当制があるので、各担当者が利用者の目標や何がしたいかなどが、いつでも見えるように貼りつけ、そのスペースに職員が気づいたこと、本人や家族から聞いた情報を提供し共有する

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項 目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	6		3
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	9		
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	9		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	9		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・風通し、日当たり、眺めはとても良い。
- ・事業所に入りにくいのではなく、道路から入り口が分かりにくかったり、敷地の一番奥にあるので入りにくい感じになっている。また、3施設並んでおりどれがどの施設か分かりにくい。
- ・看板を立てるなどしてみてはどうか。

【改善計画】 ※ 後日記入

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項 目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	9		
1	職員はあいさつできていますか？	9		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	5		4
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	5		4
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	9		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・病院や郵便局にチラシや広告を置かせてもらえるか聞いたが、空きが無いとの理由で断られた。
- ・百寿の郷の場所は少しづつ知ってもらえているが、何をやる事業所かはまだ認知が低い。
- ・「地域の方」とは、どこの場所・範囲を指しているのか。
- ・地域の方の困りごとは、まず市役所に相談されているので直接はない。

【前回の改善計画】

- ・引き続き、ボランティアの訪問や子供たちにも参加しやすい行事を取り組み、企画していく。
- ・事業所の広報やパンフレットを地域の病院や郵便局、JAやスーパーに置かせてもらう

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・地域の防災訓練や、祭りなどに参加出来ている。
- ・ご利用者によっては、事業所に来られる事を嫌がる方もいるので、来てもらうだけでなく出向いて参加した方が良い。事業所が地域の方に認知してもらえるきっかけになる。
- ・「地域」は中学校校区が利用範囲になるが、選択肢が狭まるのはどうなのか。
- ・小規模によって雰囲気が違うので選びたい。知ってる人がいないところが良いという利用者もおられ、選択出来なくなる。
- ・数回訪問することが目的である為範囲を狭くし近い距離でサービスの充実を図る。

【改善計画】 ※ 後日記入

今年度に引き続き、地域の行事やイベントに出向いて百寿の郷を知ってもらうきっかけを作り、ボランティアの来訪も定期的に行う企画をしていく

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項 目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	9		
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	9		
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	9		
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？			9

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・お出掛けや、外食、地域の行事参加など色々行かせてもらっているので有難い。家族だけでは中々連れて行き難い。
- ・民生委員も自治会長も個人情報優先し情報を伝えにくく、地域の心配な方とは関わっていない。

【前回の改善計画】

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・家族は折角預けているのでわざわざ様子を見たいとかはあまり思わない。それなら「家族会」を立ち上げて家族同士が話し合える場を作ってみては。
- ・利用者本人も外の顔、家の顔があるので行き難い。家族のみの参加の方が行きやすい。

【改善計画】 ※ 後日記入

- ・家族参加の行事は継続して行うが、「家族会」を1回行う

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項 目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？		7	2
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	9		
2	運営推進会議では、地域で心配である方等の事例検討が行われていますか？		2	7
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	7		2
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	8		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

・波々部地区の心配な方の情報が入ってこない。しかし、地域の防災訓練時などで独居の方や車いすが必要な方がいると言う事、その方の避難に関してどうするか話し合っている。

【前回の改善計画】

・運営推進会議の充実を図り、他事業所の運営推進会議の内容も2回程発表していく。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

・今回、第3者評価として初めて参加しているので今までの運営推進会議が分からない(3名)。今回参加した中で評価している。
 ・改善計画が出来なかった。次年度に持ち越す。
 ・利用者の事例検討などを話す機会があってもいいのでは。

【改善計画】 ※ 後日記入

・運営推進会議の充実を図るため、会議で年度当初に1年間の目標、計画を話し合い、目的をもった運営推進会議が行えるように計画作成する
 ・運営推進会議の充実を図り、他事業所の運営推進会議の内容も2回程発表していく。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項 目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	9		
1	事業所の防災計画(火災・風水害・地震等)を知っていますか？	5	4	
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	9		
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	3	6	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	9		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

- ・地域の防災訓練に継続して参加し災害時の連携や協力体制を築いていく。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・本人が住んでいる地域の災害時の避難や情報の連携体制を自治会長とは話し合っておく必要がある。
- ・見守り台帳への登録は本人や家族の意思になるので、登録の声掛け・促しをしていくことが望ましい。
- ・地域の方からも「防災訓練を合同で行い、臨時的な避難所として協力体制を築けて有難い」と話されていたと聞いた。

【改善計画】 ※ 後日記入

- ・運営推進委員の方にも事業所の防災訓練に参加(見学)してもらい、防災計画の説明や意見をもらう機会をつくる
- ・本人が住んでいる地域の災害時の避難支援に関しては、見守り台帳の情報を伝え、必要に応じて登録をよびかける

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	医療法人社団 紀洋会	代表者	岡本 信子
事業所名	小規模多機能型居宅介護 百寿の郷	管理者	高平 佳代子

法人・事業所の特徴

百寿の郷はH29年6月で9年目を迎えます。同じ敷地内に、デイサービスさくらんぼ、グループホーム福の郷が併設されており、デイサービスの行事に参加したり、グループホームと合同で行事をしたりと隣接施設とも交流を図れています。また、防災訓練も3事業所で行うことが出来て協力体制を構築しています。百寿の郷では「百寿農園」として近くの畑でご利用者と野菜を育てており、ご利用者のやりがい、役割り、収穫の楽しみを持つこと、収穫した野菜を調理に活用しご利用者の満足度と食べる楽しみに役立てています。また、困難事例の受け入れも多く、デイサービス利用が難しい方も訪問を行うことでなじみの関係が出来、早い段階から通い利用に繋がっています。スタッフの声掛けや、柔軟な対応の成果です。百寿の郷の通いや宿泊もご家族の急用や本人の状況に応じて柔軟に対応し安心してサービスを利用できるように心掛けています。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	3人	0人	2人	1人	0人	2人	0人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	運営推進会議で出た意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	ご利用者と1対1での関わりを増やし、本人の「何がしたいのか」を聞き取り、本人の当面の目標を目に見えるようにし職員で共有する。	初めは本人に「何がしたいか」を聞き、目標として共有していたが、見える化が出来ておらず、職員の意識低下や取り組みのモチベーションが下がり風化してしまった。	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人が良く考えて評価出来ている。前回もだが今回も評価を厳しくしているところもある。 今回参加して、利用者の事や家族の事を考えて仕事されていると感じた。 利用者の知り得た情報を個々に付箋で貼り見える化を図るようにすれば情報を把握でき職員で共有することが出来る。 	担当制があるので、各担当者が利用者の目標や何がしたいかなどがいつでも見えるように貼りつけ、またそのスペースに職員が気付いたこと、本人や家族から聞いた情報を提供し共有できるように記入(付箋の貼り付け)がすぐできるような表を作成し実践する。
B. 事業所のしつらえ・環境			<ul style="list-style-type: none"> 風通し、日当たり、眺めはとも良い。 事業所に入りにくいのではなく、道路から入り口が分かりにくかったり、敷地の一番奥にあるので入りにくい感じになっている。また、3施設並んでおりどれがどの施設か分かりにくい。 看板を立てるなどしてみてはどうか。 	
C. 事業所と地域のかかわり	今年度引き続き、ボランティアの訪問や子供たちも参加しやすいような行事を取り組み企画していく。事業所の広報やパンフレットを地域の病院や郵便局、JAやスーパーに置かせてもらう。	ボランティア参加企画6月8月12月と行い計3組の方に来ていただく。地域交流行事企画として6月に東雲高校によるお茶会を開催予定していたが部員不足の為中止となった。病院・郵便局とパンフレットを置かせてもらえないか聞くがスタンドに空きがないとの事で断られた。 ・新聞の折り込み広告を入れPRする。	<ul style="list-style-type: none"> 事業所に来られる事を嫌がる方もいるので、来てもらう事だけでなく向いて参加した方が良い。事業所が地域の方に認知してもらえるきっかけになる。 「地域」は中学校校区が利用範囲になるが、選択肢が狭まるのはどうなのか。・小規模によって雰囲気が違うので選びたい。知っている人がいないところが良いという選択が出来なくなる。 数回訪問することが目的である為範囲を狭くし近い距離でサービスの充実を図る。 	今年度引き続き、地域の行事やイベントに向いて百寿の郷を知ってもらうきっかけを作り、ボランティアの来訪も定期的に行う企画をしていく。
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み			<ul style="list-style-type: none"> 家族は折角預けているのでわざわざ様子を見たいとかはあまりない。それなら「家族会」を立ち上げて家族同士が話し合える場を作ってみては。 利用者本人も外の顔、家の顔があるので行き難い。家族のみの参加の方が行きやすい。 	・家族参加の行事(8月、12月)は継続して行うが、「家族会」を年1回行う
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議の充実を図り、他事業所の運営推進会議の内容も2回発表していく。	運営推進会議に隣接施設のさくらんぼデイサービスの所長も参加されるようになり、3事業所で地域活動を取り組む姿勢が出来、またさくらんぼは地域からの連絡窓口にもなっているので、運営推進会議に参加されることで幅広く取り組みを知ってもらう事が出来ている。	<ul style="list-style-type: none"> 地域の防災訓練時や運営推進会議などで独居の方や車いすが必要な方がいると言う事、その方の避難に関してどうするか話合っている。 今回、第3者評価として初めて運営推進会議に参加しているので今までの内容が分からない(3名)が、今回参加した中で評価している。 利用者の事例検討などを話す機会があってもいいのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議の充実を図る為、会議で年度当初に1年間の目標、計画、を話し合い、目的を持った運営推進会議が行えるように計画作成する。 また、前回の改善計画であった他事業所の運営推進会議の内容を発表することを計画に盛り込む。
F. 事業所の防災・災害対策	地域の防災訓練に継続して参加し災害時の連携や協力体制を築いていく。	<ul style="list-style-type: none"> 畑井地区と災害時の避難訓練を行い、臨時的な避難所の提供をし、炊き出し、避難食の実演、介護が必要な方の避難方法(寸劇)などをした。 運営推進会議では事業所のある災害時の避難に関しても話し、また利用者が住まれている地域の災害時の避難などの対応についても話をして協議している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本人が住んでいる地域の災害時の避難や情報の連携体制を自治会長とは話し合っておく必要がある。 見守り台帳への登録は本人や家族の意思になるので、登録の声掛け・促しをしていくことが望ましい。 地域の方からも「防災訓練を合同で行い、臨時的な避難所として協力体制を築けて有難い」と話されていたと聞いた。 	<ul style="list-style-type: none"> 29年度防災訓練は、運営推進会議の後に先行見学して頂くように計画する。(8月予定) 運営推進会議で事業所の防災計画を説明し意見を反映してゆく。 家族に災害時の時どうするのか、見守り台帳の情報を伝え、必要に応じて登録を呼びかける